

事業所名 発達支援BOXらじおぼ 児童発達支援

支援プログラム

作成日 7 年 2 月 26 日

法人(事業所)理念	障がいのある子ども及び保護者の意思及び人格を尊重し、子どもや保護者の立場を考慮した支援を行う。また、障がいのある人の内なる力を信じ、その人の強みに目を向けた支援を行う。		
支援方針	障がいのある子どもとそのご家族が、地域の中で少しでもゆとりを持って生活をしていけるように支援をする。 日常生活における基本的動作を練習し、それぞれのお子さんに合った生活に適切にしているよう、個別プログラムや集団プログラムを実施する。 子どもたちの良いところ、得意なことを見つけ、それを伸ばすとともに、ご家族と相談しながらスモールステップで、お子さん一人一人の自立に向けてサポートを行う。		
営業時間	8 時 30 分から 17 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	・看護師による日常の健康状態のチェックを実施する。また、日常的に医療的ケアを必要とする児の健康を維持する。 ・飲食、排泄、着脱衣など、身辺動作の自立に向けて、こどもの特徴や状態を把握し必要な支援をスモールステップで段階的に行う。また、基本的な生活習慣の形成に向けて通所リズムや生活リズムの安定を図りながら環境設定を含め適切な支援を行う。	
	運動・感覚	・個々の特性を把握し、視覚、聴覚、触覚、嗅覚、前庭固有覚などの刺激入力を生かし、大型運動遊具等や季節ごとの屋外活動(散歩、プール遊び、雪遊びなど)を行うことで、感覚統合の基礎となる身体機能の向上が図れるように支援する。また、それを通して感覚の偏りや運動発達の未熟さなどからくる家庭や園等での日常生活の困りごとが軽減されるように支援を行う。 ・児の特性に合った感覚玩具の作成や季節ごとの制作活動の機会を通して、巧緻動作能力向上や活動の広がりのきっかけが持てるように支援する。	
	認知・行動	・ひとりひとりの認知特性を理解し、環境整備や関わり方の統一を行うことで状況を理解したり、適切に反応したりする力を養えるように支援する。 ・適切な概念形成を促せるように、遊びの中で知育玩具や絵本を使った支援を行う。 ・こだわり、自傷、他害、パニックなどの行動に対して、物事の捉え方やきっかけとなる要因などを分析し、不安や混乱を防げるような関わりや環境の調整をし、適応行動が学べるようスモールステップで支援する。	
	言語コミュニケーション	・スタッフや他児との関わりや遊びを通して、コミュニケーションの基礎となる人への信頼や安心感、興味などをひきだせるように支援する。また、「自分の意思を伝える」「意思が伝わる」経験を積み重ねることでコミュニケーション意欲を高め、発語の機会の増加やコミュニケーション能力の向上を目指した支援を行う。また、発達段階や個々にあったコミュニケーション手段として言語だけでなく、身振りやジェスチャー、絵カードのような非言語コミュニケーションも検討しながら支援を行う。 ・絵本の読み聞かせや手遊び、歌などの活動を通して、聞き取る力を育て言葉の理解を促す支援を行う。	
	人間関係社会性	・スタッフや同世代の友だちとの集団活動を通して、他者との信頼関係、安心感、他者の気持ちを汲み取る力などを育む。 ・集団生活や活動を通して、挨拶や簡単なルールを守るなど、ソーシャルスキルを習得できるよう支援する。 ・行事などを通して、成功体験の共有や自己肯定感の向上を促し、自信をもって家庭や園など地域の中でも活動の幅を広げられるように支援する。	
家族支援	・発達状況や特性の理解、関わり方などの個々の子どもに関する事項の説明/相談/助言などを随時実施する。 ・ご家庭の希望に応じて、電話や面接での相談を実施する。 ・ご家庭の状況に応じて、利用日・利用時間・送迎等の調整を行う。 ・ごきょうだいやご家庭に関する相談に助言や情報提供をする。	移行支援	・事業所で取り組み習得した行動を園や家庭などで同様にできるように支援を行う。また、園や家庭などでの困りごとに対して連携を図りながら一緒に支援を行う。 ・ライフステージの切り替えを見据えた、地域の生活の場や育ちの場との交流と情報交換を行う。保育園等の地域集団と文書や支援会議等で移行へ向けた情報共有等を行う。 ・療育センターや保育所等との並行利用や、その後の進路などのお悩みについて、相談支援事業所等と情報共有・連携し、相談支援を行う。
地域支援・地域連携	・感染症等に配慮した中で、他の通所支援事業所との交流と情報交換や地域連携会議への参加を検討していく。 ・地域の公園や遊び場を活用する。 ・保育所等への訪問や受け入れの際に行った会議等を通じて、児童の心身の状況や生活環境などの情報連携を実施。 ・個別支援会議へ参加する。	職員の質の向上	・児発管等資格取得の支援あり。 ・職員各種勉強会や研修への参加。①虐待防止(身体拘束)に関する研修 ②事故防止に関する研修 ③感染症に関する研修 ④防犯に関する研修 ⑤災害に関する研修 ⑥マナーやコミュニケーション研修 ⑦制度に関する研修 ⑧療育に関する研修等 ・定期的に会議を開き、情報共有・検討を行う。
主な行事等	・季節ごとの行事(お正月、節分、ひな祭り、お花見、こどもの日、七夕、ハロウィン、クリスマス等) ・季節の遊び(散策・水遊び・雪遊び等)		